

令和5年度 第1回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月21日（金） 15時00分から16時40分まで
- 2 場所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、御園崇、渥美浩明、山田善万、岡本和久、寺田祐真、清水久美子、永田洋介、鈴木あゆみ
- 4 欠席委員 長坂恭輔
- 5 オブザーバー 前原基二、成瀬隆徳（顧問 スーパーアドバイザー）  
井口敏浩、松浦佳代子（三ヶ日協働センター）
- 6 学校 江間昌史（校長）、河合司（教頭）、岡田充弘（教務主任）、  
西田光男（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 牧野知子（教育総務課 指導主事）
- 8 傍聴者 1名
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 西田光男

10 協議事項

- (1) 会長の選出及び副会長の指名について
- (2) 議長の選出について
- (3) コミュニティ・スクールについて
- (4) 熟議
  - ア) 令和5年度三ヶ日中学校運営の基本方針について
  - イ) 「総合的な学習の時間」について
  - ウ) 夢育やらまいか意見書について
- (5) その他、職員紹介、CS 年間計画、三ヶ日中学校年間行事計画について

11 会議記録

司会の河合教頭から、委員総数 10 人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について、高橋委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、御園委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について高橋会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) コミュニティ・スクールについて

司会から、別紙資料及びスライドに基づきコミュニティ・スクールについて説明があり、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 熟議

##### ア) 令和5年度三ヶ日中学校運営の基本方針について

議長の指示により、江間校長から、別紙資料のグランドデザインに基づき学校運営基本方針について説明があった。

- 校訓「らしく生きる」をもとに「主体性」「考える力」「表現力」の育成を目指す。
- 学校経営目標として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、キャリア教育の推進、コミュニティ・スクールの推進、一人一人の特性に応じた指導と支援、職員の働き方改革の5つをすえ、皆さんの協力を得ながら進めていく。
- 別紙資料「三ヶ日中学校いじめ防止基本方針」を全職員に周知させ、毎日が楽しいと思える学校づくり、(保護者が)通わせたいと思える学校づくりに力を入れる。学校が子供にとって安心できる場所となるよう、傷ついている子供を守り、子供たちがここに居場所があると感ずること、自己肯定感が高まるよう環境を整えていく。

また、今後の課題として以下の5点が挙げられた。

- 総合的な学習の時間の深化と充実
- 校則の見直し
- 不登校の対策
- 部活動の地域移行
- 持続可能なPTA活動

委員に意見を求めたところ、以下のような発言があった。

- 部活動の地域移行は、先生方や地域の方々がそれぞれにどう思われているのか、アンケートを取って意見の吸い上げをしたらどうか(寺田委員)
- 校則を守れない生徒はいるのか。(永田委員)  
→現在のところ、そのような生徒はいない。ただ、基準やきまりのとらえ方が曖昧な校則もあり、検討は必要。(岡田教務主任)  
→昨年度3月に意見集会を開き、生徒が校則について話し合う機会を設けた。その意見を吸い上げ、内容に応じて生徒にフィードバックしていく。(江間校長)
- 身だしなみや持ち物に関する校則が多いと感じるが、生徒の自主性に任せると判断基準が難しくなる。黒のカバンを見直して、リュックにするのはどうか。両手が空くことは安全上好ましいと思われる。(永田委員)
- 例えば、もし、制服の見直しをするようなときは、生活困窮家庭への配慮をお願いしたい。(清水委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

##### イ) 「総合的な学習の時間」について

議長の指示により、河合教頭から、別紙資料に基づき総合的な学習の時間について説明があった。

- 今年度、総合的な学習の時間の担当主任は中村和世教諭とする。
- 1年生は、前期は町内を見つめ直す活動を行い、後期から各探究チームに加わる。

- ・今年度は昨年度に引き続き、8チームで活動していく。
- ・総合的な学習の時間はキャリア教育の目標を具現化するための活動の一つである。

委員へ意見を求めたところ、以下の発言があった。

- ・成果が早く見えてくるチームと成果がなかなか見えにくいチームがあるが、2年間の活動で成果が分かるように広報誌に掲載していきたい。新年度になり担当の先生が変わると、継続してきた活動が一旦振り出しに戻るようなところもあるので、シームレスにできるようにしていきたい。(寺田委員)
- ・特産物のチームは承認の場があるが、環境チームは変化や成果が見えにくいので、成果が見えるような仕組みを考えていきたい。(寺田委員)
- ・成果が見えると、生徒のモチベーションも上がる。(高橋委員)
- ・コロナのために今までできなかった外に向けての発信が、これからはできていけそうなので、成果の見える化のために、バックアップしていきたい。また、チーム同士が、お互いの活動が分かるように横のつながりを意識して活動していきたい。(御園委員)
- ・キャリア教育との関連も考えると、子供たちの夢を大切にしていける活動になる。地域の方を取り込むとともに、関わりをもたせれば、地域によりアピールできるのではないか。また、異学年での活動は継続と発展がありとてもよいので、卒業生にもその成果をアピールすることで、より協力を得られるようになるのではないか。(山田委員)
- ・広報誌を作成するために予算が不足するということがあれば、協賛金を募る必要があるが、それは今後も必要なのか。

→今のところは予算が不足することはない。「夢育やらまいか事業」からの予算拠出は可能。  
(河合教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

ウ) 夢育やらまいか意見書について

河合教頭から別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(5) その他、職員紹介、CS年間計画、三ヶ日中学校年間行事計画について

河合教頭から別紙資料に基づき説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、2023年6月21日(水)12時15分より給食参観、授業参観の後に、三ヶ日中学校会議室で開催する旨の報告があった。

高橋会長から、来年度の学校創立50周年事業に関する報告と協力依頼があった。